



浜の朝市のにぎわい（箱崎町）

かまいし

市議会だより

第 **95** 号

平成16年1月15日

発行＝釜石市議会・編集＝釜石市議会だより編集委員会

〒026-8686 岩手県釜石市只越町 3-9-13

TEL 0193-22-2111（内線453）・FAX 0193-22-3710

釜石市議会ホームページ

<http://www.city.kamaishi.iwate.jp/gikai/>

（ご意見をお寄せください）

十二月定例会の概要
 一般質問に十一名登壇
 臨時会・意見書・議会の動き
 議案審議
 新しい年に臨んで

8 7 6 6 2

市長の指導性に期待

地場産業の振興・市民病院の運営

十二月定例会の概要

十二月定例会は、十二月九日から十九日までの十一日間の会期で行われました。市長からは、広域溶融処理施設の建設候補地の決定・釜石魚市場移転計画の延期・三陸ブロードネットの停波についての三件の報告がありました。

一般質問には十一名が登壇し、地場産業の振興、市民病院・地域医療、エコタウン事業などについて、当局の見解をただしました。

十九日の最終日には、水道料金・下水道使用料の値上げに関する条例改正など八件、平成十五年度一般会計補正予算など八件、その他議案三件、議員発議案四件を原案のとおり可決しました。

その中で、議員発議により、諸情勢を踏まえ、委員十三名で構成する議員定数検討特別委員会を設置し、十六年十二月を期限に調査検討をしていくこととしました。

地場産業の振興

今定例会において、特に議論が集中したものに、地場産業の振興が挙げられます。

一次産業の振興策を求める質問に対しては、「農業については、各集落ごとに開催している座談会を受けて、地域の農業のビジョンを策定したい。林業については、間伐の促進とともに、官民合同の森林・林業を考える会を立ち上げ、現在そこで検討中である。水産業については、市場における水揚げの増強を図るため、廻来船誘致や、買い付け能力の高い業者の育成などに取り組みたい。」などの答弁がなされました。

また、市民所得の大幅な低下は、



地場産業の振興は (水産課提供)

二次産業の低迷が大きな要因ではないか、という質問に関連し、製

造業における労働生産性の向上に向けた取り組みの必要性が打ち出されました。

さらに、物流拠点都市形成を目指す中で、エコタウン事業を核として、新たな産業興しに取り組み姿勢が、改めて示されました。

市民病院の運営

一般質問等で市長は、市民病院問題について次のような答弁をしました。「市民病院の使命は、市民に公平、公正に良好で安心できる良質な医療を継続して提供すること。救急医療、高度医療や不採算医療などがあること。病院づくりの基本はまず医師の確保と健全経営を図ること。」などを挙げました。

また、院長からは、「今、時代の要請は、医療の質、透明性及び効率性を高めることにある。当院としては病院の基本理念に沿って医師確保、財政の健全化に取り組みたい。そのためには、医師確保対策や病院の品質管理、職員の養成に努力して行きたい。」との答弁がありました。十八日の一般質問の中で、院長は、私見と断った上で、県立病院と市民病院の両立の時代は終わり、二者択一と考えるという答弁となりました。

この発言を受け、十九日の議案審議の中で、前日の院長私見に対して、ある議員が市長の見解をたどりました。この際、他の議員から議事進行について、この件は非常に重要な案件であり、改めて協議する場を設けてほしいという提案がありました。

議会は、これを受け、本会議を休憩して議会運営委員会を開き、協議した結果、市民病院及び地域医療については、市民にもきちんと情報が伝わるよう十分に配慮するものとし、後日改めて早急に検討の場を設けることを確認し、議案審議が再開されました。



一般質問 (抜粋)

産業の振興

市民クラブ
菅原 規夫

では、十年ぐらいかかるので、手始めに、岩手町にある国内最大級の理容・美容用はさみメーカーの協力を得ながら、試作品を製作し、実証試験を進めていくと聞いている。

議員 釜石市の人口一人平均の所得額は、平成十二年は二百七十一万三千円、十三年は二百二十七万一千円で、四十四万二千円も低下しており、前年度比マイナス十六・三%の減は、県下十三市中で最大の低下率となっている。この低下の要因はなにか。また、それは、どの業種か。

部長 第一次産業は横ばい、第二次産業は二十四・七%減、第三次産業は二・七%減となっており、第二次産業で減少したためである。製造業が対前年度比で三十四・八%減少するなど、製造業の生産動向によると考える。

議員 新たな技術の研究開発、コバルト合金、生体材料の製品開発の進み具合については。

部長 産業育成センターが中心となり岩手大学と地場産業との産学官連携の取り組みで研究開発したもので、人工股関節や骨折用プレートは、生体適合性に優れ、極めて有望な素材である。製品化ま



生体材料研究会の公開講演会

一次産業振興と地産地消で
元氣な釜石を！
21世紀の会
小笠原 多子男

議員 小沢市長は公約した諸政策実現に向け頑張っていたと思いますが、私も議員の一人として、行政は市民のためにあり、議会もまた市民のためにあることを肝に銘



異常気象による農作物の被害状況は (農林課提供)

じ、頑張る市民の側に立って、いつ、どこでも市民本位の市政を追求して頑張る。最初に冷夏、日照不足による農作物の被害状況とその支援施策は。

市長 農作物全般にわたるが、特に水稻の被害は深刻だ。水稻の被害農家は約二百八十戸、面積は九十八ヘクタール、支払い共済金額は三千四百万円となる。共済金が支払われても例年の収入金額を確保できない。支援策として三事業を実施する。

議員 深刻な地域経済を活性化させるためには、一次産業を振興させる必要がある。その実態は。

部長 従事者、所得金額、後継者が減少しており、大変厳しい。

議員 地産地消、市内での消費拡大が必要だ。野菜、魚介類の消費量と地元産の割合は。

部長 市内で消費される野菜は二千五百九十三トン、生産される

野菜は、指定十四品目で千四百一トン、魚介類の消費は推定で五百九十六トン、市内で消費される魚介類の地元産の割合は27%程度となる。

国際交流の推進を
海盛会
海老原 正人

議員 溶融炉建設が平田埋立地に決定した経過は。

市長 三市二町の沿岸南部地区ごみ広域処理検討協議会において、平田を適切な候補地と判断した。

議員 公害対策の指導・徹底は大丈夫か。

助役 計画段階から市も参画し、環境保全協定など、市民に開かれたりサイクル産業の展開を目指したい。

議員 平田・上中島線の県道昇格・トンネル化はどんな方法で目指すのか。

部長 事業費は百六十億円。難しい問題を抱えている。今後とも強く要望を続ける。

議員 中学生の海外派遣を契機に英語圏の街と提携し、招致を含め交流を。

教育長 将来的には、相互交流のステップになるよう構想している。

議員 市有林の一部を天然林として、永久不抜の森を設けてはどうか。

部長 外山地区生活環境保全林が適地であり、鶴住居財産区や地区住民の意見を聞き、可能性を求めたい。



中学校の海外派遣による国際交流 (学校教育課提供)

地域医療の見直しを図れ

公明党
山崎長栄

議員 当地域の医療の供給は、高度医療や特殊医療が進歩をみせる中で、一般医療の後退や療養型病床の整備の遅れ、地域完結型の二次医療体制や救急医療の確立など市民に適切な医療を供給するには多くの課題がある。特に恒常的に人口減と少子高齢化が続いている現下にあつては、是正が必要だ。どのような検討をしているか。

部長 岩手県において「保健福祉計画」の後期事業計画が来年度策定される。その中で「釜石地域保健医療計画」の見直し作業が、協議会において進められている。さらに、県医療局においては、県立病院改革基本プラン(案)を示し、県立病院の改革を図ろうとしている。このような中で、本市の状況は人口の急激な減少、少子高齢化の進展、病床数の過剰地域だ。各病院は医師不足のほか、医療費の自己負担増、在院日数の短縮化、薬剤投与期間の緩和、診療報酬の改定などにより厳しい状況にある。現在、市民病院も含めた地域医療のあり方について検討を重ねており、今年度中には方向性を決めたい。今後は、検討委員会の設

置、アンケート調査の実施、専門コンサルタントの調査などを行い、保健医療計画に反映させたい。



地域医療のあり方は

ごみ処理は直営原則で

日本共産党議員団
菊池孝

議員 ごみ処理は自治体処理が原則であるが、運転経費の高い溶融炉を中心とした広域化ではなく、経費を最小限にとどめるためにも、各自自治体独自でごみ処理の適正化を図るべきではないか。

部長 連携を深めながら共同処理することによって、ごみ処理経費の大幅な削減が図られ、構成市町の負担も軽減される。

議員 将来を予測したごみ減量と、ごみを必要とする溶融炉方式の矛盾をどのように考えているか。

部長 溶融炉方式はダイオキシン対策のほか、リサイクルや減量化の理念に即し、矛盾を生じるものではない。

議員 水道事業の普及率が90%を超す状況の中で、受益者負担のみで事業を賄うのは無理があり、本来は税金を投入すべきである。

市長 地方公営企業法の適用を受ける水道事業は、一般会計を含む他会計からの負担金、補助金項目が限られており、現有水道施設の改修などは対象外である。

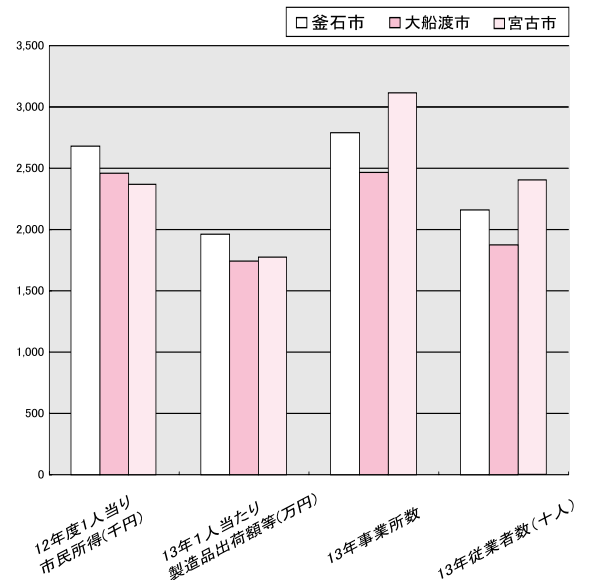
議員 地場産業振興のため、市民の英知を結集する市民公募の百人委員会をつくるべきである。

部長 後期総合計画で市民の声と知恵を反映させたい。



八雲配水池

市民所得等比較



市勢振興策について

清和クラブ
平松福一

議員 自治体における実態を示す統計諸表で、宮古市、大船渡市と比較すると、製造品出荷額、貯蓄残高、市民所得のいずれも釜石が上位であるが、事業所数、就労人口、若者の数が、逆に釜石が一番少ない。この現実を市長はいかに考えるか。自主財源となる固定資産税の土地の分について、住宅密集地の面積は釜石が六百万平方メートルに対し、同じ地域の宮古市は四百万平方メートルでありながら、税収は宮古市が多いということはなぜなのか。また、雇用の

場の創造については、釜石市の預金残高総額は、人口数が六万人余りがあるが、そこから判断して、雇用の場について創造したことがあるのか。

市長 釜石市民の、自分たちの町は自分たちでつくるといふ市民意識も大切であり、地域の特性を活用した町づくりを考え、新たな産業の創造に努める。

部長 固定資産税については、評価額において宮古市の方が高いので、そのようになっているが、それは評価に関して考慮される、地理的、社会的要因があり、当市の中心地域に大規模な画地を有する地区があること等によるものと思われる。

ことはなぜなのか。また、雇用の



道路整備の計画は

景気対策と

道路建設問題について

民政クラブ

小 鯖 利 弘

議員 他地域との差別化を図るための魚ブランド化について伺う。

部長 ブランド化は産地間競争に打ち勝つ上で有効な手段であり、高鮮度、高品質な水産物を提供できるよう釜石ブランドの確立に取り組んでいきたい。

議員 中小企業製造業を早期に景気低迷から脱却させ、再生できる対策は。

部長 企業訪問を通して経営者の生の声を把握するとともに、産

業育成センターや商工会議所等の関係機関と連携し、技術革新、企業再構築、産業転換に向けた機運の醸成にも努めていきたい。

議員 平田・上中島線の重要性、必要性を訴え、建設を要望するが当局の考えは。

部長 平田・上中島線はバイパス機能を有するとともに、リサイクル産業の集積が進められている平田地区へのアクセスとして、重要路線と位置づけられている。逼迫する財政から、県による整備は極めて厳しいと認識が示されているが、実情を県に訴え、県道昇格による早期整備に向けて積極的に取り組んでいく。

今こそソフト条件整備を

市民クラブ

佐 藤 一 夫

議員 当市再建の重要課題の道路港湾、公共埠頭等ハード条件が整備される。それに伴うソフト条件整備として企業と議会、行政の意思疎通が必要ではないか。

市長 ハード条件整備が進む中で、ものづくり基盤や地場産業を支えてきた歴史や人材、地域特性を活用し、企業、議会、行政の連携を密にする。特に釜石製鐵所との情報交換を行っていく。

議員 国の政策や県の情勢、企業の実態把握等、部長は重要な立場にある。釜石再生の哲学を伺う。

部長 まちづくりには民活が必要であり、福祉充実と雇用確保、総合計画の推進、都市基盤整備や土地の有効利用等が必要だ。

議員 仙人峠道路完成後の遠野・東和間の取り組みと見通しは。

部長 県は早期整備に向け、県と国で負担する新直轄方式を考えている。県や沿線各市町村一体の運動を展開する。

議員 学校統合の運営方針と校内、登校下校時の安全対策は。

教育長 活力のある学校づくりが目的。統合による数の増加を教育効果に変えることが重要である。

登下校時の安全対策は、中妻駐在所、交通指導隊、父母や、子供一〇番等を活用して行う。



整備が進む公共埠頭

風力発電を契機とした

まちづくり
民政クラブ
和 田 松 男

議員 国内最大規模の風力発電事業は、地域経済に与えるインパクトが大きい。関連道の整備や橋野高炉復元、青ノ木グリーンパーク跡地の活用、鶴住居川流域などの交流機能の拡大対策が必要では。

部長 関連道は、県、関係自治体と協議・連携を図り、整備促進に取り組みたい。青ノ木グリーンパークは、高炉跡と一体的な整備を検討し、広域観光の視点も考慮

して年次計画で取り組みたい。観光振興や交流人口の増大を含めた地域振興の観点から、全庁的に検討したい。

議員 多面的機能を果たす森林を保全するため、緑の雇用や森林認証、水源涵養保安林の拡大が必要だ。また、米政策への対応は。

部長 雇用対策、認証取得に向けた森林管理の基盤整備を進める。

市長 米政策は、集落ビジョンを策定するとともに、特産品の開発を支援したい。

議員 路線バスの廃止対策に万全を。

課長 総合的に検討し万全を期したい。

議員 清掃工場廃止後の対策は。

所長 勤務する地元住民対策を含め、解体後の跡地利用を検討したい。



橋野高炉の復元計画は

**地域の自立を促進するため
地場産品の創出に支援を
市民クラブ
小野寺 英雄**

部長 この種の活動に助成しており、新たな地場産品の創出には関係機関と協力して支援していく。



地場産品の創出に支援を

型事業は計画どおり進むのか。
部長 事業の凍結・先送りが必要な状況となっている。最終的な検討結果を平成十六年度予算編成後に提示したい。

議員 県立釜石病院は、県の改革プランで広域基幹病院となるが、市民病院もあわせて見直しを図る必要があるのでは。

部長 本年度中に方向性を決めたい。

議員 現在の市民病院は、医師確保、患者数の減少により経営が厳しいのでは。

院長 県立釜石病院と市民病院の共存も統合もできなくなった。今後は、県立釜石病院を残すか、市民病院を残すか根本的な議論をしてほしい。

**決断と実行で
期待の持てるまちへ
民政クラブ
松坂 喜史**

議員 釜石の前途は厳しいものが予想されるが、市長の市勢振興への考えは。

市長 地域が持つ潜在的な力を最大限引き出し、地域経済を活性化したい。

議員 市長就任時、所信表明で民間企業の経営管理手法を段階的に導入したいと述べていたが、どのようにするのか。

市長 庁議を最高経営会議とし、行政経営方針決定の場としたい。
議員 財政状況が厳しいが、大



市民病院の方向性は

11月臨時会

平成15年11月28日に釜石市議会11月臨時会が開かれ、一般会計補正予算の専決処分を承認し、条例3件、補正予算5件を原案のとおり可決しました。

主な内容は、人事院勧告に基づき国家公務員の給与が改定されたことに準じて、当市の特別職等の期末手当の支給割合引き下げ及び一般職員の給与引き下げについての条例改正とそれに伴う補正予算です。これにより、一般職員の平均年間給与は5年連続で減少し、今回の改定では過去最大の年収約16万円の減額となります。

意見書

■高速道路網の整備に関する意見書

■イラク特別措置法に基づくイラクへの自衛隊派遣に反対する意見書

■新たな雇用を創出するための起業・創業環境の早急な整備を求める意見書

議会の動き

〔10月〕

21日 建設常任委員会行政視察
研修（～24日）

27日 会派代表者協議会

28日 民生常任委員会行政視察
研修（～31日）

28日 経済常任委員会行政視察
研修（～30日）

31日 岩手県市議会議員研修会

〔11月〕
17日 市政調査会幹事会
市政調査会総会

21日 議会運営委員会

26日 会派代表者協議会

28日 11月臨時会
市政調査会幹事会

〔12月〕
2日 議会運営委員会

4日 会派代表者協議会

8日 議会運営委員会

9日 12月定例会開会
（～19日）
総務常任委員会

建設常任委員会

15日 議会だより編集委員会

16日 民生常任委員会

17日 経済常任委員会
会派代表者協議会

18日 民生常任委員会

19日 議会運営委員会

22日 議員定数検討特別委員会
議会だより編集委員会

議案審議 “主な質疑とその要旨”

平成15年度12月補正予算

〔補正額〕 一般会計 3億4553万7千円 特別会計(5会計) 12億 726万7千円
 〔補正後の予算額〕 200億5253万1千円 149億6309万9千円

主な補正内容は、本年の低温と日照不足により被害を受けた農家を支援する異常気象がんばるファーマー支援事業、消費者に水産物の生産履歴等の情報を公開し、安全・安心な水産物の提供を目指すトレーサビリティシステム生産段階導入支援事業補助金などです。

市民病院長の発言について

問 一般質問の答弁での院長発言に対する市長の見解は。

答 早急に院長と検討し、議員の方々にも説明した上で意見等をいただきたい。

まちづくりに助役の見解は

問 就任されて間もないが、釜石の状況は把握されたと思う。まちづくりに対する見解を伺う。

答 本議会の議論を通して、産業、雇用などが厳しい状況にあり、皆さんが苦しんでいることを実感している。元気を出さなければいけない。就任以来、市幹部とは激しい議論をしている。感じるのは、皆暗くて落ち込んでいる。何をやってもうまくいかない。しかし、文句を言っても始まらないので前向きに検討すべきだ。市政懇談会が評価されたが、市民のために何ができるのか、若い職員とも話している。希望を捨てないことだ。

検討状況を明らかに

問 議員からの意見・提言に対する検討状況の資料はどのようなものか。

答 毎年三月にとりまとめ、九月の決算期に報告書を出すこととした。

予防接種

問 小中学生のインフルエンザ予防接種を、学校で任意接種することの可能性は。

答 予防接種法が改正され、現在は学校での集団接種は行っていない。改めてできないものかどうかは、医師会、教育委員会など関係者と検討してみたい。

一次産業振興の決意は

問 一次産業の振興に向けた市長の決意は。

答 一次産業の育成・強化を図る。地産地消の方向性を探るとともに、観光と絡めて付加価値を高めていく。

サポート教員の配置

問 小規模校の児童減少に対する見解とサポート教員の配置について伺う。

答 小規模校は、世代間を越えた形で教育活動を展開している。一方、保護者には児童数の多い学校に進ませたいという希望者も出てきている。その辺に注意しながら、小規模校ならではの特色のある、充実し、発展するような指導をしていきたい。教職員の配置は、県教育委員会の基準に沿って配置をしている。事情によっては、加配や非常勤教員の配慮をいただいたり、ラーニングサポートの職員を配置している。実態は承知しているので、できる限りの配慮をした。



市政調査会を設置

釜石市議会では、平成十五年十一月十七日に全議員二十六名で構成される市政調査会を設置し、正副会長及び幹事の互選を行いました。

市政調査会は、市政課題の調査研究を通じて、市勢振興を図ることを目的としています。

今後は、幹事会において協議しながら、調査研究活動を進めていく予定としています。

なお、幹事会の構成は次のとおりです。

- | | |
|-----|---------|
| 会 長 | 佐藤 一夫 |
| 副会長 | 佐々木 義昭 |
| 幹 事 | 小 鯖 利 弘 |
| 〃 | 佐々木 透 |
| 〃 | 水 野 昭 利 |
| 〃 | 菊 池 孝 栄 |
| 〃 | 山 崎 長 一 |
| 〃 | 川 崎 勇 一 |
| 〃 | 藤 井 修 一 |

人事案件

● 人権擁護委員候補者の推薦

- 後藤 フク氏
 大内 直一氏

頌春

— 新しい年に臨んで —



議長 平 館 幸 雄



民政クラブ



前列左から
佐々木透
和田松男
松坂喜史
小鯖利弘
後列左から
佐野金吾
秋元厚子
岩間勤二
新里博政

公職選挙法により「印刷年賀状」を出すことができませので、本紙によりご挨拶を申し上げます。

市議会議員一同

市民クラブ



小野寺英雄
佐藤一夫 菅原規夫

21世紀の会



平館幸雄
小笠原多子男 佐々木義昭

海盛会



藤原茂實
川崎勇一 海老原正人

新生クラブ



水野昭利
野田忠孝 両川敏之

公明党



細田孝子 山崎長栄

日本共産党議員団



坂本良子 菊池 孝

清和クラブ



藤井修一 平松福一

お詫び

議会だより第94号の12ページに「新任期を迎えた議員」として掲載した写真について、議員のほかに市三役及び議会事務局職員も入っています。説明不十分のため誤解を与えた皆様にはお詫びいたします。



昨年は四月の県議会議員選挙に始まり、市長選挙、市議会議員選挙、衆議院議員選挙と、まさに選挙の一年でした。選挙におけるマニフェストという言葉がやりましたが、今後はまさに公約の成果が問われる正念場と言えます。

(海老原 記)

委員長 菅原 規夫
副委員長 海老原 正人
委員 佐々木 透
坂本 良子
細田 孝子
佐々木 義昭
野田 忠孝
藤井 修一